

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	コンサートプロダクト4	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	コンサート制作コース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	270時間
単位数	9単位			授業形態	実習
教科書/教材	内容に応じて資料を配布する。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	富樫咲子	実務経験の有無・職種	有・プロモーター		
<b>学習目的</b>					
多様化するコンサート・イベント業界に対応する為に1年次に学んだコンサートの基本をより高度なものに高める。臨機応変な対応やトラブル対応など、実務として即戦力になれる力を身に付ける。コンサートの制作と運営の違いを学び、一つの公演を行うためにどれだけのスタッフが必要か、制作としての役割と運営としての役割を実際のコンサートを行いながら実践的に習得する。効果的な宣伝を行うにはどのようにしたら良いか、学校内はもちろん学校外での流行や動きを積極的にリサーチし、得たものを形にし実行する。チームディスカッションやチームごとの学習を多く取り入れ、自分が伝えたい事をより明確に相手に伝えるためにはどのようにしたら良いか、自分で考える事が習慣づくようになる。					
<b>到達目標</b>					
学校内での施設はもちろん、学校外の会場も使用し、1年次に培った経験を個々が活かし、円滑なコンサート運営を目標とする。ファンクラブ、グッズ、予算管理、チケット管理、客入れ客出しプラン作成、出演者とのやりとり、場内場外警備プラン作成、ロビー展開の考案、危機管理対策、コンサート運営に関するマニュアル作成とシミュレーション実施まで、チーム内で意見交換しながら作り上げていく。舞台・照明・PAなどテクニカルコースの学生を制作として統括するために、各セクションの役割を基礎実習で得た事を十分に活かしながら進行する。					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	企業と手を組みながら、より本格的、多種多様なイベントへも参加し経験値を積む。 同時に複数のイベントを行い、より実務に近いカリキュラムを構築、実施。学校外の会場を使用し、会場担当者との事前打ち合わせ等で得た情報を他コースへ共有し、情報共有の大切さを学ぶ。コンサート制作コースの学生間、教員・講師との報連相を習慣づけ、コミュニケーション能力を身に付ける。				
注意点	イベントやコンサートを行う際、一部の学生に作業と責任が集中することの無いよう、万遍なく学生を見る事を心がけ、偏りや舐れが出ないよう配慮する。運営中、柵や看板など多くの備品を運ぶため、怪我をしないように十分注意する。音楽だけでなく演劇やフェスなど「エンターテイメント」全般の観劇や映像作品を鑑賞。PCで扱うイラストレーターも活用する。制作・運営の中でもどの職種をやりたいのかを明確にし、企業・組織で協働する事の重要性を理解できるようにすることを目標とする。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することが出来ない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	20%	春期課題、夏期課題提出と内容を評価する		
	小テスト	10%	担当した出演者名や会場名、公演コンセプトなど理解度を確認する為に抜き打ちで実施する		
	レポート	20%	理解度を確認する為に実施する <input checked="" type="checkbox"/>		
	成果発表(口頭・実技)	50%	積極的な授業参加度、発表方法や内容・言葉遣いなどによって評価する		
平常点	0%				
<b>授業計画 (1回～15回)</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ライブ実習1	かまた祭(公演概要作成、役割決め) 予算管理、経費、コンサートビジネスとしての意識づけ			
2回	ライブ実習2	かまた祭(人員の配置など安全を第一に考えつつコストを踏まえた上で高度な配置を考案)			
3回	協賛・パブリシティに関する授業	協賛の取り方やプレゼン方法、ライブレポート等、外部との関係性の構築するための基本を学ぶ			
4回	ライブ実習3	かまた祭(より具体的な進行台本の作成、テクニカルまで相対的に把握する)			
5回	かまた祭ライブ本番	タイムテーブル通りに進行しているのか?何が予定と変わったのか考察し次に活かす)			
6回	ライブ実習4	卒業ライブ(公演概要作成、役割決め、コンセプト・テーマ決め、会場下見)			
7回	ライブ実習5	卒業ライブ(顧客の管理、イベントの特性により最適な席次の構築、安全にかつ効率よい運営)			
8回	ライブ実習6	卒業ライブ(グッズ、販促グッズ等の企画、立案)			
9回	ライブ実習7	卒業ライブ(片柳アリーナにてシミュレーションを実施、宣伝方法提案・収集)			
10回	ライブ実習8	卒業ライブ(公演概要作成、役割決め、コンセプト・テーマ決め、会場下見)			
11回	ライブ実習9	卒業ライブ(ポスター・フライヤーの作成、特別プロモーションの実施)			
12回	ライブ実習10	卒業ライブ(装飾演出、お客様導線の装飾などイベント演出を考える)			
13回	ライブ実習11	卒業ライブ(前バブ、後バブなど媒体を使った宣伝の方法を理解、実施)			
14回	卒業ライブ本番1	卒業ライブ(すべてのセクション、すべての行程を学生主導で行う) 総まとめ			
15回	卒業ライブ本番2	卒業ライブ(在学中の反省を活かす、時間厳守・挨拶等基本を忘れず進める)			